

宮口公認会計士・税理士事務所
(東京)

**目まぐるしく変わる税制改正に伝える
知識と経験豊富な経営のアドバイザー**



宮口 徹 所長
(東京税理士会 所属)

組

織再編税制やグループ法人税制、連結納税、事業承継税制と、毎年のように税務の仕組みは新設・改正されていますが、この動きに的確に対応でき

ている専門家は思った以上に少ない。申告の誤りで多額の追徴課税を余儀なくされていたり、逆に余計な税負担をしまつてしまっている企業は少なくありません」

こう話すのは、宮口公認会計士・税理士事務所の宮口徹所長だ。同事務所では、グループ企業を保有する中堅以上の企業や、資本政策

に悩んでいる企業を中心に、都市銀行や不動産デベロッパー、人材派遣会社、飲料メーカーなどの様々な業種の顧問先を抱える。

大手会計・税務事務所では業務が立て割りで、ワンストップ対応が難しく、費用も高くなる。一方、従来型の個人事務所は業務領域が狭く、中堅以上の企業に対応できない。

「こうした中、私は証券会社、監査法人、税理士法人と様々な角度から企業財務に取り組んできた経験と知識でクライアントに満足して頂けるアドバイスができます。大手や個人事務所が対応しきれない隙間を埋める存在として、サービスをワンストップかつリーズナブルな価格で提供してきました」(宮口所長)

平均年齢が60歳以上と言われる税理士業界。案件によつては対応できない専門家がいます。最新の税制に迅速に対応できる専門家として、信頼を獲得してきた。

セカンドオピニオンで企業の身近な存在に

「BIG4」と呼ばれる4大会計事務所の税務部門で10年超の経験を持つ宮口所長。M&Aや事業再生、事業承継のアドバイザー業務に多数従事した経験を持ち、デューデリジェンス(買収対象企業の資産査定やリスク分析)の実績は1000件を超える。

また、書籍の執筆や専門誌への寄稿、各種セミナー講師を担当し、難解な税制をわかりやすく解説するなどの活動にも精力的だ。

かつては証券会社に在籍し、株式公開準備企業を支援してきた経験も持つ宮口所長。当時は証券マンの営業活動にも多数同行し、営業マインドや顧客ニーズに応える姿勢を学んだ。

この経験は現在の事務所運営における業界ではまれな「サービス業としての意識」を高めることに役立てられている。

今後の展望について宮口所長は次のように話す。「病院のように、会計・税務のセカンドオピニオンも引き受けていきたい。今の株主構成や企業グループ体制が、会計・税務の観点から最適になっているのかをプロの視点から見極めます。初回のご相談は無料ですが

ら、もつと気軽に相談してほしいですね」

企業数の減少により、厳しさを極め、価格のダンピングが横行している税理士業界において、今年1月に開業し、順調に顧客を獲得してきた同事務所。ただやみくもに規模の拡大を追い求めるのではなく、オーダーメイドで高品質なアドバイスを提供していく。(石)

【会社データ】

本社 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル6F
TEL 03-4588-6375
設立 2013年1月
事業内容 会計・税務顧問業務、各種コンサルティング
<http://www.miyaguchi-cpa.com>



宮口所長が寄稿した書籍